

夢から抜け出せない大人たちの上映会



これは映画か？それとも夢か？

夢見がちに
制作中!

- ・自主映像作品の上映
- ・2015年開催「瀧の夢映画祭」制作作品上映
- ・「みずつつちカルタ」原画展

かた ゆめえいがさい
瀧の夢映画祭2018 上映会

1回目: 13:15~14:45 2回目: 15:15~16:45
料金: 各回ともに500円 (中学生以下無料・入退場自由)

9/30 (日) 会場: クロスパルにいがた 映像ホール (新潟市中央区礎町通3-2088)



写真: 小林 雅人

個性豊かな作品が勢揃い!



この事業は水と土の芸術祭 2018 市民プロジェクトとして実施します

ご協賛のお願い

「潟の夢映画祭2018」は「水と土の芸術祭2018 市民プロジェクト」として実施しておりますが、負担金額のみでは実施に必要な資金が不足しております。

“夢”を投影した自主映画制作、新潟の「水と土」への思いを集めた「みずつちカルタ」づくりを行う「潟の夢」を応援して下さる皆様にご協賛をお願いいたします。

ご協賛いただいたお金は映画制作、カルタづくりと上映会実施のための資金として使用いたします。

潟の夢映画祭実行委員会代表 高橋 秀彰

協賛金

一口1,000円(何口でもお受けいたします)

協賛方法

ご協賛いただける方は、下記までご連絡ください。

メール:katanoyume2018@gmail.com

店舗・企業の方

9/20(木)までにご協賛頂いた店舗・企業様は、映画祭当日に会場配布するパンフレットに、広告を掲載いたします。また、協賛金一口につき一席、上映会時に招待者様席をご用意してご招待いたします。

個人の方

9/20(木)までにご協賛頂いた方は、映画祭当日に会場配布するパンフレットに、お名前を掲載いたします。(掲載をご希望されない方は匿名希望の旨をお知らせください)また、協賛金一口につき一席、上映会時に招待者様席をご用意してご招待いたします。

「潟の夢映画祭2018」は映画制作、カルタづくりをしながら参加者が個人的な夢を語り、他者と共有し楽しめる場を作る活動です。

一潟の夢映画祭とは？

「水と土の芸術祭2015」にて美術作家友政麻理子が発起人となり実施された。参加市民が「潟の夢」を見、その報告会を元に短編映画を制作、さらに映画館づくりと映画祭を開催。それらを通して対話とコミュニケーションを生み出すアートプロジェクト。今年(2018)は前回参加者達のやる気により、市民プロジェクトとして復活!新規メンバーの心意気も加わって、今年も新たな夢を語る!

※活動の一環として、ドキュメンタリーの撮影をします。

あらかじめご了承ください。

※内容は変更になる場合がございます。あらかじめご了承ください。

※事前申込は不要です。当日、直接各会場までお越しください。

※未就学児は保護者の同伴が必要です。

友政 麻理子 | ともまさ まりこ

現代美術家、映像作家

コミュニケーション過程に現れる典型的な「型」に焦点を当て作品制作やワークショップを行う。近年は父と娘の食事のやりとりや、やまびこや輪踊りのような風習、自主制作映画をモチーフに、公私や虚実のあいから、他者との新たな関係を開く作品制作をしている。水と土の芸術祭2015 招聘作家。市民との自主映画プロジェクト「潟の夢映画祭」(新潟市)、「知らない路地の映画祭」(東京足立区)に取り組み、まちや人々を繋げる活動を行っている。水と土の芸術祭2018 こともプロジェクト 招聘作家。 HP | <http://www.tomomasa.info/>



写真：小林 雅人

主催：潟の夢映画祭実行委員会

お問い合わせ：katanoyume2018@gmail.com

<https://www.facebook.com/katanoyume/> (@katanoyume)

<https://twitter.com/katanoyume2018> (@katanoyume2018)

最新情報はwebで!

※各開催会場ではお問い合わせには対応していません。

